

IV. 産業界活用の推進

IIの大学技術士会ヒアリングから

- ・現状
- ・課題
- ・日本技術士会への期待と要望

↓
論点整理

視点

① 産業界活用の現状（企業、大学ヒアリングより）

- ・業務で資格活用する企業では資格取得を奨励
- ・多くの企業では資格取得が組織として推進されていない
- ・専門（専任）技術者として活用している事例あり
- ・学生に一次試験を奨励する大学が増えつつある

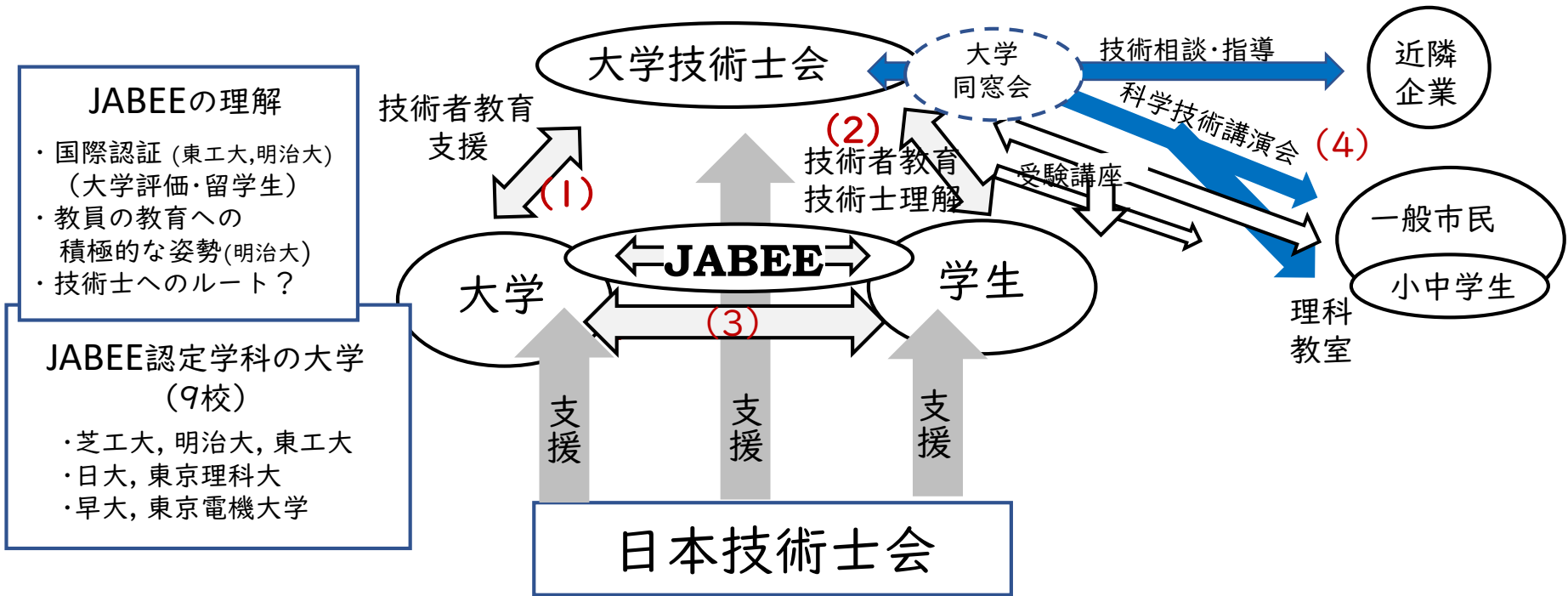
② 産業界活用の領域拡大に向けた取組

- ・技術士の知名度向上に向けた活動
 - 技術士会 HP の改善、PR 冊子の作成・普及啓発
 - 企業技術士会、大学技術士会との連携強化
- ・産業界における技術士資格活用のロールモデル提案
 - 製品の安全・安心の確保への貢献
 - Society5.0、持続可能社会形成への貢献
 - 企業内の技術者、学生の能力開発教育への貢献

③ 今後の進め方

- ・経産省、経団連をはじめとする産業界とのパイプづくり
- ・産業界のバックアップによる資格活用の支援要請
- ・大学に対して技術士制度の啓蒙活動を行い、能力開発の手段としての活用推進
- ・就職時に有利になるなど資格のインセンティブを高める活動により、工学系学生の取得意欲を高める

大学技術士会・大学・学生の関係の現状の整理(社会貢献の視点から)



JABEEの理解

- ・国際認証(東工大, 明治大)(大学評価・留学生)
- ・教員の教育への積極的な姿勢(明治大)
- ・技術士へのルート?

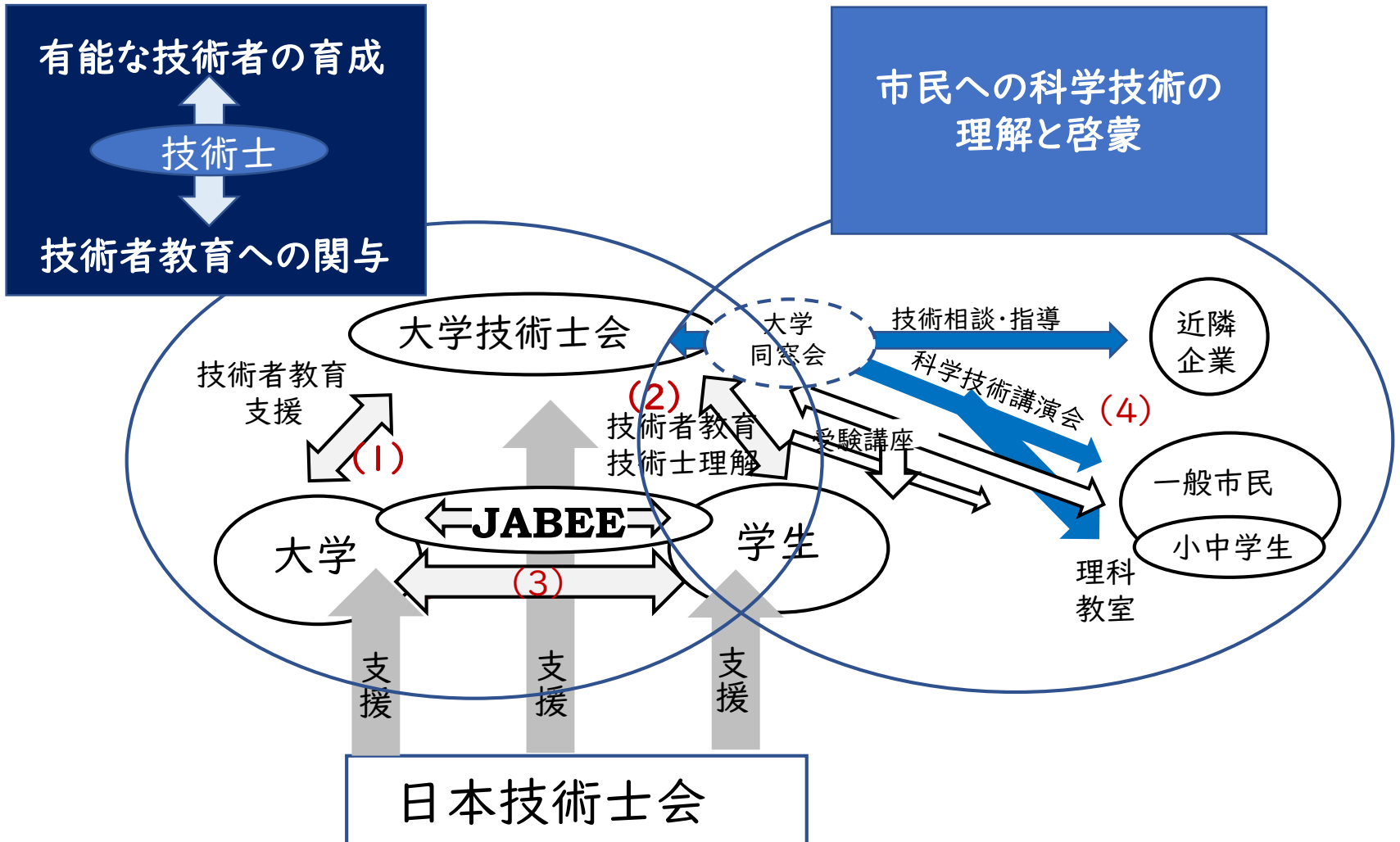
JABEE認定学科の大学(9校)

- ・芝工大, 明治大, 東工大
- ・日大, 東京理科大
- ・早大, 東京電機大学

- (1) 大学⇔大学技術士会**
- 技術者教育支援
 - ・機械技術と社会(青学大)
 - ・機械工学関係科目(明治大)
 - ・技術者倫理(明治大, 電通大, 東京都市大)
 - ・その他(日大, 中大, 東京理科大)
- (2) 大学技術士会⇔学生**
- 技術士制度, 技術士資格の有用性の説明(芝工大, 青学大, 中大, 東京理科大, 東京電気大)

- (3) 大学⇔学生**
- 受験奨励(青学大, 芝工大, 明治大, 日大, 中大)
 - ・受験費補助(青学大, 東京都市大)
 - ・合格:大学院進学への推薦要件(機械系)(青学大)
- (4) 大学技術士会⇔市民**
- 技術相談・指導(芝浦工大, 東工大)
 - セミナー共催(東工大)
 - 市民参加の技術士会講演会(電通大)
 - 理科教室(東工大)
 - 技術士受験講座(芝工大)

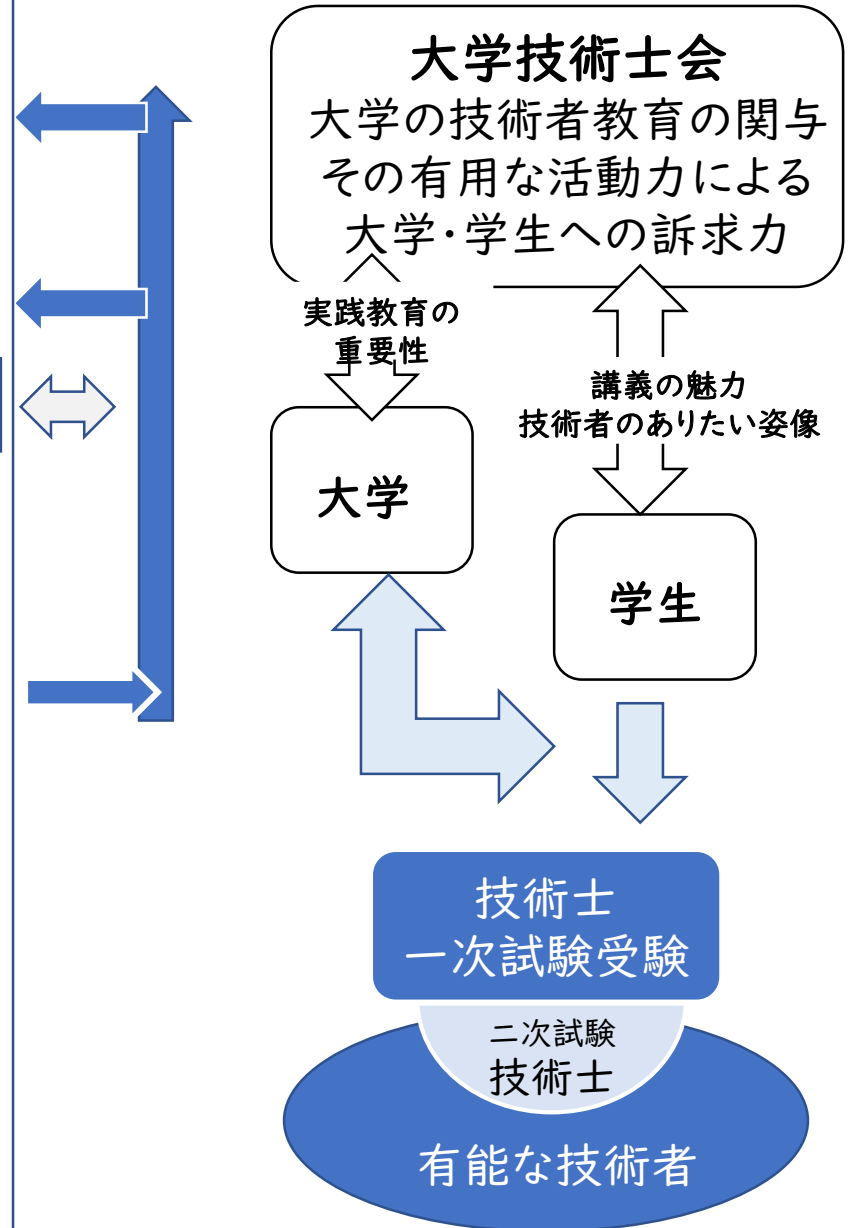
大学技術士会の社会貢献の軸足



大学技術士会技術者教育を通じての 技術士活動の現状整理と理解

- 1) 大学はもとより、教員でも技術士資格の認知度は低い。
- 2) 技術士資格を有している大学教員は少ない。実態を把握できていない大学が多い。
- 3) 大学技術士会は、同窓の二次試験合格者を把握できていない(組織のカバー率も不明)。
- 4) 学生に一次試験の受験を奨励している大学は6校はある。さらに受験料を補助している大学は2校ある。
- 5) 学生向けの入学ガイドブックに取得可能資格として、技術士が記載している大学1校ある。
- 6) 一次試験合格の学生が大学院受験の(特定学科の)推薦要件となる大学が1校ある。
- 7) 一次合格者でも、社会に出てから二次試験の受験につながることは少ない。
- 8) 大学の技術者教育に大学技術士会が寄与しているケースがあるが、講義担当の非常勤講師の採用に技術士だからという要件はない。ただ、技術者倫理の講義は技術士が担当している。
- 9) 大学技術士会メンバーが大学の技術者教育の講義に貢献していると、大学・教員の技術士の理解と評価の関係が築かれる。この種の大学ほど、学生への受験奨励や受験者数の増加につながっている。また、これらの大学は大学技術士会が技術士資格の有用性についても学生に説明している大学でもある。
- 10) JABEE認定は卒業から技術士資格へのルートというよりも、大学の国際認証と国際評価につながると位置づけている大学もある。結果として海外からの留学生の応募が増えている(2校)。
- 11) 社会(市民)への技術啓蒙活動に寄与している大学技術士会がある(大学・大学同窓会との共催も含め、技術相談、科学技術セミナー、理科教室など)。

現状



大学技術士会ヒヤリング：課題と支援のまとめ

大学技術士会

有用な技術者教育

技術立国

技術士

有能な技術者

技術者教育に参与する 大学技術士会と大学(学生) win-winの関係の構築

有能な技術者となる学生の教育支援に
大学技術士会が関与するには
有用な技術者による教育指導能力

大学技術士会が
有能な技術者(技術士)集団
であることが必要十分条件

大学技術士会の
技術士会会員の拡大

講義内容の信頼

ありたい技術者像

大学

← JABEE →

学生

1次から
2次試験へ

必要な支援

大学への技術士資格の認知度向上
社会での技術士価値情報の提供

受験生への配慮(受験料の見直し)

一次合格者の技術者(技術士)養成の支援

・技術士会費(WEB会誌の見直し)

・CPD参加費の配慮

大学技術士会の技術士登録支援

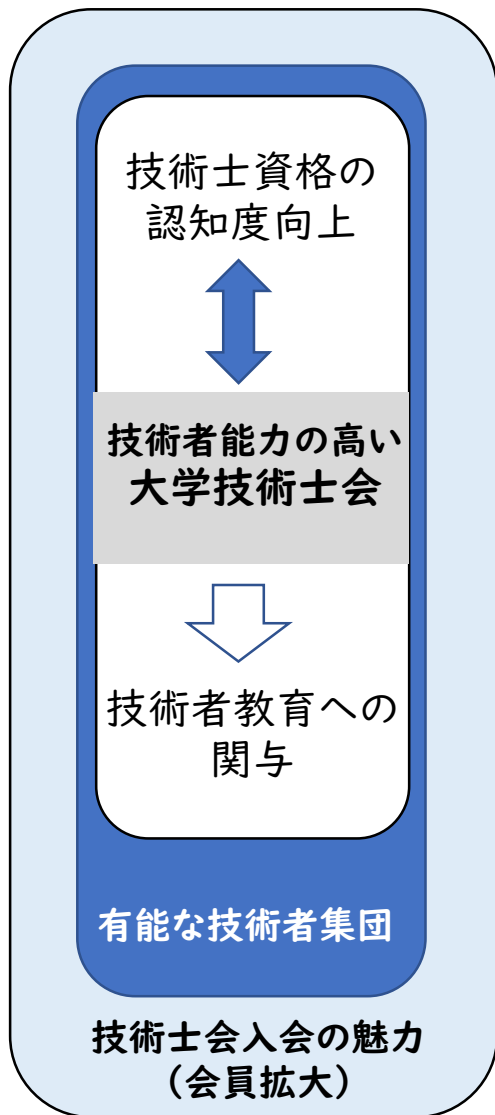
いかに*技術士を増やすか
(*技術士会会員)

日本技術士会

技術者が入会を希望する魅力ある組織であること

大学技術士会ヒアリング結果の整理とまとめ

IV. 産業界活用の推進



① 産業界活用の現状（企業、大学ヒアリングより）

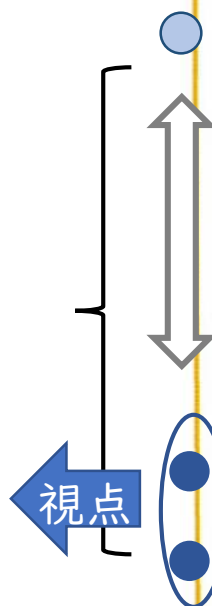
- ・業務で資格活用する企業では資格取得を奨励
- ・多くの企業では資格取得が組織として推進されていない
- ・専門（専任）技術者として活用している事例あり
- ・学生に一次試験を奨励する大学が増えつつある

② 産業界活用の領域拡大に向けた取組

- ・技術士の知名度向上に向けた活動
 - 技術士会 HP の改善、PR 冊子の作成・普及啓発
 - 企業技術士会、大学技術士会との連携強化
- ・産業界における技術士資格活用のロールモデル提案
 - 製品の安全・安心の確保への貢献
 - Society5.0、持続可能社会形成への貢献
 - 企業内の技術者、学生の能力開発教育への貢献

③ 今後の進め方

- ・経産省、経団連をはじめとする産業界とのパイプづくり
- ・産業界のバックアップによる資格活用の支援要請
- ・大学に対して技術士制度の啓蒙活動を行い、能力開発の手段としての活用推進
- ・就職時に有利になるなど資格のインセンティブを高める活動により、工学系学生の取得意欲を高める



視点

2020.11.6 科学技術・学術審議会 第10期技術士分科会
制度検討特別委員会（第6回）
日本技術士会からの資格活用委員会の活動の説明資料